

としょかんをたんけんしよう！

～「スタートカリキュラム」わくわく・ぐんぐんタイム（生活・国語）～

- 4. 道徳性・規範意識の芽生え
- 5. 社会生活との関わり
- 8. 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 9. 言葉による伝え合い
- 10. 豊かな感性と表現

本時のねらい 図書館を探検する活動を通して、図書館の様子や貸し出しの仕方について、予想したり学校司書と関わったりしながら考え、図書館にはたくさんの本があることや学校司書が関わっていることに気づき、図書館を楽しく安心して利用したり、本に親しんだりしようとする。

これまでの子どもの姿



【教師の願いを物語で伝える】

校長先生に、プリントを渡したり受け取ったりする時は、「どうぞ」「ありがとう」って言うことが大切って教わったよ。
→「どうぞ」「ありがとう」の輪を広げていきたいため、次の日の読み聞かせを「どうぞのいす」にしました。

【日常と物語を結びつける】

今日の「子ども読書の日」の集会で、校長先生がおすすめした本を読んでみたい。
→集会終了後のなかよしタイムでの読み聞かせを「100万回生きたねこ」にしました。

【子どもの思いや遊びを活動につなげる】

・雨の日はお外で遊べないから、学校を探検してみようかな。
・「昔ながらの部屋」を発見したよ！どんな部屋なのかな？
→中休みに自主的に学校探検に出発したことで、学校への興味が深まり、3時間目から学校探検を開始しました。

【子どもとともに考える】

学校にいる人の名前を聞きたいけど、どうやって聞けばいいのかな？
→子どもの「？」を探検終了後に確認し、みんなで話し合っって次の作戦を立てるようにしました。

【活動を通しての、課題、葛藤、悩み、願い】

- ① 読み聞かせの本って、どのように選べばいいんだろう？読み聞かせに興味を示さない子どもたちのためにも知りたいな。
- ② 子どもたちが学校探検を通してどのようなことを学ぼうとしているのだろうか？
- ③ 絵や言葉で伝えるよさに気づいてほしい。クラスの友達へどう伝えたいのだろうか？
- ④ 児童が「必要感」をもって学校探検をしたり、人と関わったりするようになってほしい。どんなはたらきかけがいいのだろうか？

【改善、工夫した点】

- ① 幼児期に親しんだ絵本、日常生活に関連する絵本、季節感のある絵本、言葉遊びの絵本、シリーズの絵本、大型絵本など、子どもの様子を見ながら選んだ。
担任が好きな絵本を読むことで、絵本を介して子どもとつながることもできそう。
子どもの興味がある絵本を読んでみるのもいいかも。Aちゃんは、昔話が好きだと言っていたから読んでみよう。
- ② 子どもたちの声を聞く。
→「学校に詳しくなりたい！」「学校の地図を作りたい！」
「場所だけではなくて、人や物についても調べたい！」
- ③ 直接見て確かめたい児童が多いため、子どもたちから話を聞いた後に、もう一度その場所にクラス全員で行って確かめるようにした。
- ④ ストーリー性をもって日常生活と学校探検を関連付けるようにした。
→「水遊び用に大きなバケツとハンガーが欲しい」（家庭科室）

活動のながれ

・：子どもの姿

□：教師の支援

図書館に行ってみよう！→移動→学校司書の河野さんとの出会い（10分）

- ・図書館で本を借りてみたいな。
- ・学校の模型を作るために、図書館に行ってみたいな。
- ・ぼく、図書館までの道知ってるよ！
- ・図書館に人がいるよ。入っていいのかな？
- ・図書館を探検したり、本を読んだりしてもいいですか？
- ・学校司書の河野さんって言うんだね。どんなお仕事をしているのかな？

子どもたちが今まで出てきていた言葉を書き溜めておき、意欲をもって図書館に行けるようにする。

子どもたちが先頭になって移動をし、学校司書と自然な流れで出会えるようにする。

子どもたちが自分の言葉で、この時間をどう過ごしたいのか伝えられるようにする。

図書館を探検し、気づいたことを表現する。（15分）

- ・図書館の使い方をみんなに伝えたいから、河野さんに聞いてみよう！
- ・図書館では静かにして過ごそうっていうポスターがたくさんあるね。
- ・本を読んでいる人がたくさんいるからじゃないかな？
- ・本の棚の上には、番号が付いていました。何の番号なのかな？
- ・本がたくさんあるね。何冊くらいあるのかな？河野さんに聞いてみようかな。
- ・本を借りる時は、スーパーみたいなピッてする機械を使うって聞きました。借りてみたいな。

集まった「？」をまとめる短冊を用意し、子どもたちのつぶやきを拾う。発見したものをみんなで確認できるように、実物の前に集まって共有する。探検での発見やはてなを共感的に受け止め、友達に伝えたいという意欲を高めるようにする。

今後の活動について子どもたちに問いかけ、子どもたちが図書館で取り組みたいものに、それぞれに取り組めるような時間を設ける。

図書館の「？」を深掘りし、解決していく→本を借りる（20分）【生活】

- ・本の棚の番号は「分類番号」っていうもので、本の種類を分けるためのものなんだね。
- ・学校司書さんは、学校の本のことを1番知っているんだね。
- ・図書館では借りたい本を持って司書さんに「借りたいです」って言ってたよ。同じように借りてみようかな。
- ・貸し出し期間は1週間だって！忘れないようにしないとね！

自分が選んだ本を読んでもらう→本を借りる（20分）【国語】

- ・幼稚園の時に先生に読んでもらって好きだったんだ。
- ・自分が好きな本を読んでもらえてうれしいな。
- ・この間、生井先生が読んでいたシリーズの絵本がある！続きを読んでほしいな。
- ・残りの時間じゃ、この本は読み切れないね、本を借りて教室で読んでもらいたいな。
- ・本を借りている友達に借り方を聞いてみよう。

自分の好きな本をみんなに伝える。→本を借りる（20分）【国語】

- ・お母さんがよく読んでくれた本だ！登場人物がたくさん登場するところが好きなんだ。
- ・恐竜が好きなので、この本が気になるな。借りて読んでみたいな。
- ・友達が紹介していた本で面白そうなものがあったよ。借りて読んでみようかな。
- ・本を借りている友達の借り方を見て、私も真似してみよう！

今日の活動を振り返り、発見したことや疑問に思ったことなど全体で共有をする。図書館も自分たちの居場所だという安心感をもつとともに、次回も図書館に行ったり、違う場所に探検したりしたいという意欲につなげるようにする。